

教育・保育目標

【地球の中で】

持続可能な未来に向けて、保育者や仲間とともに考え、行動する子ども

〇一人の第
〇一資質・能力

保育者や仲間とともに体験してほしいこと

- 自分のため、そして他者のために園や地域の活動に保育者や仲間とともに参加・参画する。【参加・参画】
- 自分の存在・意見が他者を動かす力になることに気付く。【参加・参画】
- 日常生活における様々な選択が、持続可能性にどのように貢献するかを理解する。【つながりに気づく】
- 自然のいとなみが全てつながっていること、また人の生活や行動も自然のいとなみとつながっていることに気づく。【つながりに気づく】
- 持続可能性に対する関心をもつ。【世界を広げる】
- 自分の世界を広げ、世界の多様性を知る。【世界を広げる】

【自分から】

主体的に行動してなごみの世界を広げ、自分や仲間という実感を
感じながら生活する子ども



体験してほしいこと

- 自分の感情や行動を統制する。【自己制御】
- 自分の行動に責任をもつ。【主体性】
- 自分で考え、自分で行動する。【自己決定】
- 自分らしさを大切にする。【主体性】
- 自分で決めたことを実行する。【自己決定】
- 生活や遊びの中で自分で決めたこと
に責任を負い、楽しんで取り組む。
- 【約束・満足感】
- 自分のやりたいことに向かって伸び伸びと
取り組む。【主体性】
- 友達をもて行儀する。【自己制御】
- 生活や遊びの中で自分で決めたこと
に責任を負い、楽しんで取り組む。
- 【約束・満足感】
- 身近な環境に興味・関心を持ち、主体的に
かかわる。【興味・関心】

【創造する】

試行錯誤しながら探究し、
新しいものや自分なりの考え、
方法を創造し、表現する子ども



体験してほしいこと

- 多面的な視点から考え、思考を深めてみる。
【多面的に考える】
- 粘り強く取り組み、失敗してもやりとげよう
とする気持ちをもつ。【やりとげ】
- つぎとつぎと粘り強く通して、空想の
世界と現実を行き交う。【多面的に
考える】
- 予測して確かめ、試行錯誤を重ねて探究する。
【工夫・探究】
- 自分なりに比べたり、間違ったりしな
がら考える。【工夫・探究】
- 考えや思いを言葉や図で表現する。【思いをつ
つ】
- 新しいことや、アイデア、方法を思いつく。
【思いをつつ】
- 工夫しながら遊ぶ。【工夫・探究】
- 見立てるふりをするなど空想の世界を楽しむ
はじめる。【思いをつつ・多面的に
考える】
- 豊かな想像力、表現力を伸ばし、思いをつ
つ。【思いをつつ】
- ものごとの性質や仕組みがどうなるか、興味関心
をもつ。不思議に思う。【興味・関心】

【人とともに】

ありのままをわかりあい、
分かちあひ、
分かちあう子ども



体験してほしいこと

- 公平・公正の感覚を身に付ける。【協力・協同】
- 一緒に生活し楽しむ中で、まよりの大切さ
に気づく。やうやうとする。【協力・協同】
- 友だちと共通の目的を思い、協力して
取り組む。【協力・協同】
- 自分の思いや気持ちを伝える。相手の思
っていることに気づく。【思いをつつ】
- 自分や他者のよさに気づく。一緒に活動
する楽しさを味わう。【楽しみ・信頼】
- 自分の気持ちや考えを表現し、伝えよう
と試みる。【楽しみ・信頼】
- 保育者や友だちと話し、愛情や信頼感
をもつ。【楽しみ・信頼】
- 表情や言葉、言葉で人と気持ちを
通わせる。【楽しみ・信頼】
- ものごとの性質や仕組みがどうなるか、興味関心
をもつ。不思議に思う。【興味・関心】

【興味・関心・共感】

- 興味関心をもって様々な環境（ひと・もの・こと）にかかわる。／園生活を楽しむ。
- 園庭や地域の自然に関心し、／五感をい、さまざまな感覚を味わう。
- 誰かだ、泣いたり、怒ったり、さまざまな感情を体験する。／気持ちや思いを言葉と共有する。【共感】

【安心・安定】（情緒の安定）

- 園にかかわるすべての人が多様なまに受け入れられ大切にされて過ごす。／ただ存在する喜びを感じる。
- 園という環境（ひと・もの・こと）に慣れ親しみ、信頼し、安心して過ごす。／くついで過ごす。し、身の安全が保たれる。
- 一人ひとりのものの見方や考え方を大切にされ、安心して生活する。

【安全・健康】（生命の保持）

- 生理的欲求が、十分に満たされる。／のびのびと体を動かす。さまざまな運動を楽しむ。
- 保育者とともに健康の予防や基本的な生活習慣の形成に取り組む。健康に気を付けて過ごす。
- 危険な場所、危険な遊び方、災害などの行動の仕方がわかって（3・4・5歳）、保育者とともに安全に気を付けて行動する。
- 自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。（4・5歳）

こども園の1年

毎日・毎月

おはなしタイム
誕生会
身長・体重測定
遊戯練習

4月
始まりの会
入園式
クラス懇談会
個人懇談

5月
子どもの日の会
春の遠足（4・5歳児）
参観・クラス懇談会
健康診断・乳児健康診断（前期）

6月
ジャガイモほり
水遊び・プール遊び
入形劇
交通安全教室

9月
2学期始まりの会
乳児健康診断（後期）
教育実習（4週間）
生活安全教室
音楽鑑賞会
普仏遠足（3・4・5歳児）

8月
個人懇談
七夕の会
大掃除
1学期終わりの会
年長デー（5歳児）

7月
にじいろでい（育友会主催）
サツマイモほり
運動会

10月
お楽しみ会
個人懇談
大掃除
2学期終わりの会
元氣マラソン

11月
世界遠足学習（5歳児）
参観・クラス懇談会
附中文法会（3・4・5歳児）
視力検査（4歳児）

12月
1月
3学期始まりの会
芸術鑑賞会

2月
部分の会
参観・クラス懇談会
附小交流（5歳児）

3月
ひなまつり
お別れ会
卒業式
終わりの会

園歌
あしたのね



奈良教育大学
附属幼保連携型認定こども園 要覧

〒630-8301
奈良県奈良市高畑町354番地
TEL：0742-27-9286
FAX：0742-27-9287



こども園の
WEBサイト
はこちら



奈良の子 地球の子 宇宙の子
地域で育ち、世界とつながり、未来を創る

「奈良の子 地球の子 宇宙の子」について

本島の国歌の歌詞には、奈良、子地、宇治の字のうと言書が入っています。本島は100年の歴史の中で、いつの時代もこの奈良の地で子どもたちを大切に育ててきました。現在、グローバル化も進み、地球規模でものごとを考え、行動することの求めがますます。地球の子という言葉には、そんな地球の子を育てていくという願いが込められています。子どもたちが生きていく今後の100年は、私たちの想像を超える変化が訪れる時代になるのかも知れません。子どもたちが活躍する場所は地球と子どもが宇宙にまたがっていてです。そんな未来には必ず希望、楽しさワクワクしながら生きてほしい。そんな願いを込めています。

本園の教育・保育理念

- 持続可能な開発のための教育(ESD)の推進拠点である奈良教育大学と連携しながら、「予測不可能な未来を生き抜き、仲間とともに新たな価値を創造できる持続可能な社会の担い手となる子ども」を育成する。
- 主体的・対話的な教育・保育活動を基盤として、一人一人の子どもの資質・能力が十分に発揮できる環境を整え、子どもを「自ら育う」とする存在¹として捉え、子どもをリスペクトし「子どもの横に並び、子どもと保育者が共に創り出す教育・保育」の実践を図る。

本園の使命

本園は、国立大学法人奈良教育大学附属幼保連携型認定こども園として、教育基本法および認定こども園法に示されたこども園の目的を達成すべく“乳幼児の教育・保育”を遂行するとともに、以下のような使命を担っています。

1. 国立大学初級の附属幼稚園認定こども園として、乳幼児期のカリキュラムを開発し、その実践を行う。
2. 大学と協同し教員養成を行うため、短期学習や教育実習の場として本園を提供するとともに、学生の指導を通して得た幼児教育・保育を担う人材を育てる。
3. 大学や「こどもの学びと育ちセンター」と連携して幼児教育・保育の理論と実践に関する研究を進め、その成果を研究紀要や公刊教育研究会などで発表して奈良県内外に広く公開する。

こどもの学びと
育ちセンターの
WEBサイトはこちら



学級編成・園児数(定員)

年齢	0歳児	1歳児	2歳児	満3歳児	3歳児		4歳児	5歳児	計
クラス	たんばび組	ひよこ組	りす組		いちご組	ぶどう組	そら組	たいよう組	
定員	6	6	6	9	15	15	30	30	117

沿革の概要

昭和2年4月	奈良女子学校跡原小学校後援会創設(幼稚園として) 跡原小学校校舎内で4歳児・5歳児保育を開始
昭和36年4月	3歳児保育を開始
昭和41年4月	奈良教育大学附属幼稚園の設置と名称
昭和54年3月	園舎新築工、通称キャンパスに移転
平成16年4月	国立大学法人化に伴い、奈良教育大学附属幼稚園と名称 第3歳児保育を開始
令和4年4月	奈良教育大学附属幼稚園保護者懇談会設置 2歳児保育を開始
令和8年4月	1歳児・0歳児保育を開始



研究のあゆみ

平成12-20年	ひびきとともがら教育をめぐって 一ひびき協会の発足から子どもへの教育実践の考えへ
平成21-22年	音楽活動の中心に児童会がとって教育実践の改善 活動のために必要な能力について
平成23-24年	保護者による音楽活動の推進 子どもとともがら音楽会
平成25-28年	子どもとともがら音楽会をつなげる新しい音楽の創造 一音楽会が「果てしなく」音楽を育めるために
平成29-30年	財団法人協会の教育実践の肯定 「果てしなく」果てしなく
令和元-2年	一音楽会、果てしなく音楽を育めるために トーマスとともがら、知能と音楽を育める環境と子どもへの教育
令和3年	トーマスとともがら、知能と音楽の新しい一歩へ、音楽を育める環境について 共に育める音楽 一財団法人協会の社会性への教育と教育実践の開発へ
令和4-5年	文化庁学芸員養成所 音楽科の学びの進化事業 「果てしなく」果てしなくの音楽の創造性を実現する音楽・音楽科カリキュラム
令和5年	果てしなく、果てしなくの音楽の創造性を実現する

子どもたちが十分に遊び込み生活する中で豊かな学びが生まれるように、
多様な体験の場と環境を用意し関わっています。



みんなで集まって、
物語の世界を楽しむ



試行錯誤を重ねて
探究する



「あれ？」なんか違う
ダンゴムシがいるぞ



思いついたことを
友達や先生と形にする喜び



興味・関心を
広げる瞬間



温かな霧気の中で
奥村と山合に覆われる



若草山に登るぞ！
(遠足)



写真に添えられているマークは、それぞれの場面で特に育まれている資質・能力を表しています。詳細は教育・保育目標をご覧ください。

妊娠期からの子育て支援



育ちの喜びや悩みを分かち合える子育て支援

- 園を地域に開き、妊婦期から切れ目のない支援を行うとともに、多様な専門家にいつでも気軽に相談できる環境を整えています。
- カムカムベビーフェア (妊婦とそのご家族)
 - すくすくベビー (1歳児)
 - つばみりうぼ (11か月以上)
 - すくすくらぶ めばえ (1歳児)
 - すくすくらぶ わかば (2歳児)
 - なっちょんひろば (未就園児のための園前開放)

附属こども園の1日

